

【島のくらしの情報】

トカラ列島(十島村)～口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島～

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>■島での就業は第一次産業(畜産・農業・漁業)への従事が主となります。 ■一次産業で就業に関する支援としては就業者育成奨励金という制度もございます。 【就業者育成奨励金】※最大5年間交付 農林水産業等に従事した日数に応じて奨励金を交付します。 ①単身で従事した場合 1日5千円～7千円以内 ②家族で従事した場合 1日8千円～1万円以内 ※4年目～5年目は上記額が減額となります。※2年目の支援が終了するひと月前にこれまでの実績を審査し、3年目以降の交付を行うか判断します。</p> <p>●お問い合わせ:地域振興課 定住対策室 電話099-222-2101</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>■十島村では、住宅困窮者やI・Uターン等に応じるため村営住宅を整備しています。また、村では平成22年から村で空き家を借上げ、改修したうえで定住希望者へ貸し出しも行っていきます。 なお使用料については単身用世帯で月6,000円～、家族世帯用で8,000円～空き家改修住宅で5,000円～となりますが、所得要件や居住年数等により異なります。 ※現在住宅が不足している為、事前に問い合わせが必要です。</p> <p>●お問い合わせ:地域振興課 定住対策室 電話099-222-2101</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>■医療については、病院がなく、各島7か島に村立の「へき地診療所」があり、1名ずつ看護師が常勤しています。また、常駐医師が鹿児島赤十字病院から3か月交代で長期派遣され、中之島を拠点に上4島の巡回診療をしています。下3島は鹿児島赤十字病院の月2回程度の診療に加え、平成27年4月から、県立大島病院勤務の医師(県配属＝村兼任発令)が隔週毎に巡回診療を行っています。 その他、鹿児島子ども病院による小児診療や鹿児島大学による眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科などの特定診療科の検診も行われています。</p> <p>■急患発生時は、ドクターヘリ・鹿児島県防災ヘリ・海上自衛隊ヘリを要請します。</p> <p>●お問い合わせ:住民課 電話099-222-2101</p>

<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>■平成24年度から宝島で「小規模多機能ホームたから」が開所し「島民が住み慣れた島でいつまでも生活できる村づくり」を目標に、他の島への波及も目指しています。また、平成24年度から高齢者見守り支援員を育成し、サロン活動や安否確認の訪問活動を実施しています。口之島においては、平成27年7月より住民主体の総合事業として取り組みを開始しています。</p> <p>●お問い合わせ:住民課 電話099-222-2101</p>																																
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>■村内各島に小・中併設校が1校ずつ(合計7校あります。 ■村内小・中学校全校児童生徒数92名(小学生65名・中学生27名) ■村内の各学校では山海留学を実施しており、15人を受け入れています。 ■村内に高校はなく、島外の高校に通学しています。村では、修学支援を行っており寮費、帰省等に係る費用の補助をしています。</p> <p>●お問い合わせ先:十島村教育委員会 電話099-227-9771</p>																																
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>■上水道:簡易水道</p> <p>■電気:火力発電(島内にある火力発電所を利用。中之島は火力発電と水力発電)</p> <p>■ガス:LPガス</p>																																
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>鹿児島⇄口之島 (6,180円 6時間10分) 鹿児島⇄中之島 (6,180円 7時間05分) 鹿児島⇄諏訪之瀬島 (7,010円 8時間10分) 鹿児島⇄平島 (7,010円 9時間05分) 鹿児島⇄悪石島 (7,010円 10時間05分) 鹿児島⇄小宝島 (8,020円 11時間25分) 鹿児島⇄宝島 (8,020円 12時間05分)</p> <p>便数は、基本的に週2便で月曜日と金曜日の23時に鹿児島を出港します。</p> <table border="1" data-bbox="1361 1139 1928 1286"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> <th>日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1日</td> <td></td> <td colspan="3">鹿児島～十島～名瀬</td> <td></td> <td colspan="2">鹿児島～十島～名瀬</td> </tr> <tr> <td>第2日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3日</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">名瀬～十島～鹿児島</td> <td></td> <td colspan="2">名瀬～十島～鹿児島</td> </tr> </tbody> </table>	日付	月	火	水	木	金	土	日	第1日		鹿児島～十島～名瀬				鹿児島～十島～名瀬		第2日								第3日			名瀬～十島～鹿児島			名瀬～十島～鹿児島	
日付	月	火	水	木	金	土	日																										
第1日		鹿児島～十島～名瀬				鹿児島～十島～名瀬																											
第2日																																	
第3日			名瀬～十島～鹿児島			名瀬～十島～鹿児島																											

<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>■島内には、タクシー、レンタカーレンタバイクなどはございません。車両については、各民宿から借りるしかありません。そのため、民宿に宿泊される方は、港まで宿泊先の民宿が送迎を行っています。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>■島内には、都会のような大型のスーパーやコンビニエンスストアなどはありません。商店が1～2件ある程度です(お店がない島もあります)。島の方々は、その売店で食糧を購入するか、または鹿児島島や奄美大島から個人的に取り寄せています。口之島及び宝島には集落の協同売店があります。その他の島については個人経営です。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>■平成22年度より本格的に移住対策及び支援を開始し、毎年多くの移住者が来てくれています。なお、平成22年度から平成27年度の間には206名のUターン者が十島村へ移住しています。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>■体験希望者については2ヶ月を限度とし、農林水産業に従事した日数に応じて奨励金を交付します。</p> <p>①単身で従事した場合 1日3千円以内 ②家族で従事した場合 1日5千円以内</p> <p>●お問い合わせ: 地域振興課 定住対策室 電話099-222-2101</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>■農林水産業への従事に対する支援のほか、経費の補助及び生み出された加工品の販売に係る販路開拓・拡大・広告宣伝に係る費用の一部の支援などがあります。</p> <p>●お問い合わせ: 地域振興課 定住対策室 電話099-222-2101</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らし方について伝えておくべき必要な情報</p>	<p>①憧れや漠然とした気持ちだけでは長続きしません。 十島村は自然には恵まれています、離島の中でも交通アクセスの脆弱さなど、生活していくためには厳しい地域であるのも事実です。豊かな自然の中で暮らしたいという憧れだけでは長続きしません。島で何をしたいのか将来の展望を持ち、準備・計画することが大事です。村では移住者に対し様々な支援を行いますが、それらは永続的に行うものではありませんので、ある程度の貯蓄があることにこしたことはありません。</p> <p>②家族の同意を得ること。 移住は第2の人生のスタートであり、家族の生活環境も大きく変化します。ご家族とも十分に話し合いの場を持ち、移住への合意を図ってください。</p> <p>③地域を尊重、理解すること。 地域の生活文化を尊重し、地域に溶け込み、地域活動などにも積極的に参加するなどの言動が必要です。島は「プライバシーが確保しづらい」「地域活動や政が多い」など、特有の生活環境です。移住後に公開しないためにも、事前にそれぞれの島の地域性について理解することが重要です。</p>